

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	朝礼・中礼時に「ビジョン」「介護理念」「誓い」の唱和を行い、毎日理念を確認してから業務につく仕組みがある。また事務所に掲示している。実践に繋がるよう留意していく。			朝礼・中礼時に「ビジョン」「介護理念」「誓い」の唱和を行い、毎日理念を確認してから業務につく仕組みがある。また事務所に掲示している。実践に繋がるよう留意していく。
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	民生委員の方の協力を得て、行事などの情報を頂いている。コロナ等に配慮をし、地域の住民としての在感を感じて頂けるよう参加する。	9/16 敬老会実施。職員さんの息子様、相撲の土俵しこふみ。 10/12 小学校運動会見学予定。		民生委員の方の協力を得て、行事などの情報を頂いている。コロナ等に配慮をし、地域の住民としての在感を感じて頂けるよう参加する。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議で現状の報告を行っている。2024年7月より、対面での実施を復活させて、外部評価も随時行っている。	今後も継続してください。		運営推進会議で現状の報告を行っている。2024年7月より、対面での実施を復活させて、外部評価も随時行っている。
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市役所の担当者に加算や届出、外部評価等の相談をし、指導して頂いている。また生活保護申請の手続き等に於いて、協力関係が築けるよう努力している。	今後も継続してください。		市役所の担当者に加算や届出、外部評価等の相談をし、指導して頂いている。また生活保護申請の手続き等に於いて、協力関係が築けるよう努力している。
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全国のホームと共同でZOOMを活用した委員会を毎月開催し、職員会議ではその内容の研修を通じて職員へ周知を促している。運営推進会議の場を身体拘束廃止委員会としている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全国のホームと共同でZOOMを活用した委員会を毎月開催し、職員会議ではその内容の研修を通じて職員へ周知を促している。運営推進会議の場を身体拘束廃止委員会としている。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修や職員会議・朝礼中礼時に虐待防止の話し合いをもっている。虐待が見過ごされることがないように、全員で取り組んでいる。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修や職員会議・朝礼中礼時に虐待防止の話し合いをもっている。虐待が見過ごされることがないように、全員で取り組んでいる。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	機会に応じてオンライン研修など積極的に参加していく。ホームのケアマネージャーを通じて最新の状況を共有するようになっていく。			機会に応じてオンライン研修など積極的に参加していく。ホームのケアマネージャーを通じて最新の状況を共有するようになっていく。

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約書の説明と重要事項の説明を行い、署名捺印を頂いている。			契約書の説明と重要事項の説明を行い、署名捺印を頂いている。
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族が来られた時や電話等を通じてご意見を聞いた時には、すぐに対応して他の職員へ周知している。意見箱を設置して、ご意見を聞く準備ができている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族が来られた時や電話等を通じてご意見を聞いた時には、すぐに対応して他の職員へ周知している。意見箱を設置して、ご意見を聞く準備ができている。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	1年に1度夢会議を実施している。職員一人ひとりが、仕事に対して行いたい事や設備面・待遇面について個々の夢を描き出し、経営計画に盛り込まれる。また、管理者による面談を毎月実施している。			1年に1度夢会議を実施している。職員一人ひとりが、仕事に対して行いたい事や設備面・待遇面について個々の夢を描き出し、経営計画に盛り込まれる。また、管理者による面談を毎月実施している。
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	社員に対して年1回の自己実現会議を実施し、上司・同僚でアドバイスし、評価している。目標管理シートを使い、向上の為自己評価も行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	社員に対して年1回の自己実現会議を実施し、上司・同僚でアドバイスし、評価している。目標管理シートを使い、向上の為自己評価も行っている。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介助技術向上の為に資格取得サポートを行っている。実践者研修や管理者研修の費用負担等を行っている。月1回研修を実施している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介助技術向上の為に資格取得サポートを行っている。実践者研修や管理者研修の費用負担等を行っている。月1回研修を実施している。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外部から届く研修の案内を提示している。同業者との交流の機会があれば積極的に参加する予定。			外部から届く研修の案内を提示している。同業者との交流の機会があれば積極的に参加する予定。
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご入居者は一方的に介護を受けるのではなく、できる方には生活の中に役割をもって頂いている。現状できている機能を奪わないよう支援している。			ご入居者は一方的に介護を受けるのではなく、できる方には生活の中に役割をもって頂いている。現状できている機能を奪わないよう支援している。
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	携帯電話での馴染みの人との連絡をサポートしている。ご家族以外の方々との面会も継続していく。ドライブで馴染みの場所へ出かけたりしていく。	友人・知人の訪問を継続してほしい。		携帯電話での馴染みの人との連絡をサポートしている。ご家族以外の方々との面会も継続していく。ドライブで馴染みの場所へ出かけたりしていく。

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員がご入居者の隣に座り、日々の生活での悩みや困りごとを聞く時間をもつよう心がけている。日常の中で集めた情報はケアカンファレンスを行い、介護計画作成に繋げている。			職員がご入居者の隣に座り、日々の生活での悩みや困りごとを聞く時間をもつよう心がけている。日常の中で集めた情報はケアカンファレンスを行い、介護計画作成に繋げている。
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議にご家族の参加を頂いている。介護計画作成に基づいて、ご本人のお話やご家族からの情報を共有するよう心掛けている。	ご家族の参加を増やしていく。	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議にご家族の参加を頂いている。介護計画作成に基づいて、ご本人のお話やご家族からの情報を共有するよう心掛けている。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご入居者に対する介護記録を記入して、申し送りで伝えている。気になる点は朝礼・中礼で問題提起をして連絡帳に記載し、長期に渡って目に留まるようにしている。		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご入居者に対する介護記録を記入して、申し送りで伝えている。気になる点は朝礼・中礼で問題提起をして連絡帳に記載し、長期に渡って目に留まるようにしている。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	柔軟に対応できるように、日々の介護記録は細かく記入し、変化があれば朝礼・中礼やカンファレンスにて話を深めている。	人に言いたくないことを引き出していく。		柔軟に対応できるように、日々の介護記録は細かく記入し、変化があれば朝礼・中礼やカンファレンスにて話を深めている。
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ドライブで、神社、加太駅や近隣の山裾、川辺などを見て地域を感じて頂き、この地域に住んでいるという事を実感して頂けるようにしている。	近所で生活している職員やご家族様より情報を頂く。		獅子舞をやる方がいらっしゃる。春日神社総代をされる。職員のお父様に依頼するなど。
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時に在宅でのかかりつけ医を利用するか、協力医の往診に切り替えるかの確認を行っている。また受診医には情報の提供を行っており、医師からも情報を頂いている。			契約時に在宅でのかかりつけ医を利用するか、協力医の往診に切り替えるかの確認を行っている。また受診医には情報の提供を行っており、医師からも情報を頂いている。
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医療機関への入退院に関してはお互いにサマリーを渡し情報の共有を実施している。また日常的に関係を深めるために居室の空き情報などをもって地域連携室を訪問している。		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医療機関への入退院に関してはお互いにサマリーを渡し情報の共有を実施している。また日常的に関係を深めるために居室の空き情報などをもって地域連携室を訪問している。

23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化した場合に係る指針及び看取りに関しての同意書を頂いている。ターミナル期がきた場合、ご家族・主治医・介護職・計画作成担当者・看護職・管理者で、話し合いの場を設けている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化した場合に係る指針及び看取りに関しての同意書を頂いている。ターミナル期がきた場合、ご家族・主治医・介護職・計画作成担当者・看護職・管理者で、話し合いの場を設けている。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. ほとんどできていない	緊急時のマニュアルをもとに対応している。応急処置については、管理者より介護職に指導をしている。			緊急時のマニュアルをもとに対応している。応急処置については、管理者より介護職に指導をしている。
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. ほとんどできていない	年2回の避難・通報・消火訓練を実施している。また水害時の事を想定した避難訓練や、近隣の避難場所について地域との協力体制を築いていけるようハザードマップを確認している。	自分自身の安全確保をまず行う。加太地区では名簿をもとに回っているが、避難所には住人全員が入れない。水害が1F2Fと及んできたときに、上に行く方法を考える。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. ほとんどできていない	年2回の避難・通報・消火訓練を実施している。また水害時の事を想定した避難訓練や、近隣の避難場所について地域との協力体制を築いていけるようハザードマップを確認している。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの人格を尊重できる言葉かけに注意を払い、プライバシーを守るよう努めると共に、毎月の職員研修に認知症と接遇マナーを取り入れるようにしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの人格を尊重できる言葉かけに注意を払い、プライバシーを守るよう努めると共に、毎月の職員研修に認知症と接遇マナーを取り入れるようにしている。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日課は介護計画に基づいて支援しているが、ご本人が散歩に出かけたい等言われるのに合わせたレクリエーションも行っている。入浴も体調や気分に合わせて実施している。			日課は介護計画に基づいて支援しているが、ご本人が散歩に出かけたい等言われるのに合わせたレクリエーションも行っている。入浴も体調や気分に合わせて実施している。
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	なるべく出来合いの食材は使わず、食べたいものも提供している。それぞれの嗜好を大切に、身体状況に寄り添い給仕している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	なるべく出来合いの食材は使わず、食べたいものも提供している。それぞれの嗜好を大切に、身体状況に寄り添い給仕している。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様それぞれの状態に合わせて食事量を調整し、水分補給を進めている。一日の摂取量を記録に残して引継ぎ時に発表している。			入居者様それぞれの状態に合わせて食事量を調整し、水分補給を進めている。一日の摂取量を記録に残して引継ぎ時に発表している。

30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後に口腔ケアの介助をし、義歯の管理が必要な方は管理している。必要に応じて歯科受診を依頼している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後に口腔ケアの介助をし、義歯の管理が必要な方は管理している。必要に応じて歯科受診を依頼している。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄チェック表を基に、定時・随時の誘導を行っており、トイレでの排泄ができるよう努めている。便秘状況を看護師が管理し改善に努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄チェック表を基に、定時・随時の誘導を行っており、トイレでの排泄ができるよう努めている。便秘状況を看護師が管理し改善に努めている。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴の曜日は決めているが、その日に入ることが出来ない場合、本人の体調や気分に合わせて別の日に入浴できるよう配慮している。			入浴の曜日は決めているが、その日に入ることが出来ない場合、本人の体調や気分に合わせて別の日に入浴できるよう配慮している。
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	睡眠状況を記録に残して把握し、必要に応じて日中の仮眠も促している。またソファで休息して頂き臥床の時間を設けている。週1回リネン交換して清潔の保持に努めている。			睡眠状況を記録に残して把握し、必要に応じて日中の仮眠も促している。またソファで休息して頂き臥床の時間を設けている。週1回リネン交換して清潔の保持に努めている。
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	看護師から薬の事を聞いて対応し、変化があれば報告している。薬の変更時には様子を観察している。服薬時はダブルチェックの体制をとっている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	看護師から薬の事を聞いて対応し、変化があれば報告している。薬の変更時には様子を観察している。服薬時はダブルチェックの体制をとっている。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	料理が好きな人、洗濯を干すのが好きな人、掃除が好きな人等その人に合わせて役割をもって頂き支援し、常に他の活動も促している。	やりたいことを探していけるとよい。		料理が好きな人、洗濯を干すのが好きな人、掃除が好きな人等その人に合わせて役割をもって頂き支援し、常に他の活動も促している。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナなどで買い物や外食を控えているが、散歩とドライブの希望に沿って実施している。時間が許す限りドライブに行く様にしている。	外出を継続していく。		コロナなどで買い物や外食を控えているが、散歩とドライブの希望に沿って実施している。時間が許す限りドライブに行く様にしている。
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナなどで外出による買い物を控えており、現在は使う機会をもてない。できる方に外への買い物に一緒にいきたい。			

38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	電話や手紙の希望をされる方が少なくっており、ご家族様からの訪問で面会や通院を支援させていただいている。			電話や手紙の希望をされる方が少なくっており、ご家族様からの訪問で面会や通院を支援させていただいている。
39	居心地のよい共有空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共有の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	掃除機かけなど、ご入居者様がやりたいことをできるだけ援助している。空気清浄機・除菌機を設置して空間除菌を行っている。お雛様を飾ったり、季節のカレンダー作りで貼り絵をして頂く等、季節を感じて頂けるよう心がけている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	掃除機かけなど、ご入居者様がやりたいことをできるだけ援助している。空気清浄機・除菌機を設置して空間除菌を行っている。お雛様を飾ったり、季節のカレンダー作りで貼り絵をして頂く等、季節を感じて頂けるよう心がけている。
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修を通じて認知症の理解を深め、心の声に耳を傾けるという理念を発表している。状態によって寄り添う内容は口頭で申し送りしている。			研修を通じて認知症の理解を深め、心の声に耳を傾けるという理念を発表している。状態によって寄り添う内容は口頭で申し送りしている。
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご入居前に事前面談を行い、その際に生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境をアセスメントしている。その結果を朝礼・中礼時に申し送りをし、連絡ノートに記載している。			ご入居前に事前面談を行い、その際に生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境をアセスメントしている。その結果を朝礼・中礼時に申し送りをし、連絡ノートに記載している。
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	看護師が相談にのっている。3カ月に一度心身状態に変化が無いかわアセスメントを実施し、その結果により介護サービスを変更するなど柔軟に対応している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	看護師が相談にのっている。3カ月に一度心身状態に変化が無いかわアセスメントを実施し、その結果により介護サービスを変更するなど柔軟に対応している。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ある程度の日課を決めてはいるが、ここは家であり、ご入居者様主体であることを毎月の研修で確認し、柔軟に対応することを伝えている。			ある程度の日課を決めてはいるが、ここは家であり、ご入居者様主体であることを毎月の研修で確認し、柔軟に対応することを伝えている。
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居の際にはご自宅で使われている家具を出来るだけ持ち込んで頂いている。配置について本人と家族と相談しながら設置している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居の際にはご自宅で使われている家具を出来るだけ持ち込んで頂いている。配置について本人と家族と相談しながら設置している。

45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ等で、催事に参加する事は控えて頂いている。散歩とドライブについては極力意向に沿ってできるようにしている。	運動会、学習発表会、オレンジカフェ、ふれあいの郷夏祭りなど、参加していく。		コロナ等で、催事に参加する事は控えて頂いている。散歩とドライブについては極力意向に沿ってできるようにしている。
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホームでの役割などを実践することが、認知症を進行させない方法であり、できないこと・わからないことに配慮した上でして頂くことを優先業務とするよう伝えている。			ホームでの役割などを実践することが、認知症を進行させない方法であり、できないこと・わからないことに配慮した上でして頂くことを優先業務とするよう伝えている。
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員が間に入ってうまく促すとともに、会話や運動などを安全な範囲で周りの方々と行えるよう、毎日レクリエーションの時間を配置している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員が間に入ってうまく促すとともに、会話や運動などを安全な範囲で周りの方々と行えるよう、毎日レクリエーションの時間を配置している。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナなどで交流を控えて頂いているが、散歩の折に畑仕事の方等と、遠目から会話したりしている。	散歩が継続できると良い。		コロナなどで交流を控えて頂いているが、散歩の折に畑仕事の方等と、遠目から会話したりしている。
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	小学校の運動会を見学したりして地域に触れていただくことがあるが、まだ機会が少ない。ご家族様との軋轢を避けて頂き、職員が認知症の理解を深めていくことでよりよい生活を送れるよう、研修やカンファレンスを強化していく必要がある。	日々、職員全員が理念を唱和する。管理者やケアマネージャーが伝えることを継続する。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	小学校の運動会を見学したりして地域に触れていただくことがあるが、まだ機会が少ない。ご家族様との軋轢を避けて頂き、職員が認知症の理解を深めていくことでよりよい生活を送れるよう、研修やカンファレンスを強化していく必要がある。